



さあ！民具を集めましょう
一万点以上をめざして

全町民の心のふるさと

民俗資料館へ

大豊町では、九月を「民具一万点収集月間」と定め、門田町長以下全町民挙げて、先人の残した民具を集め、これを町立民俗資料館に納めて永久に保存することになりました。

このことは、去る八月三十一日の区長会にはかり、全町民の皆さんにご協力をお願いすることになったものです。一万点以上ということは町民一人一点以上という数字で、町を挙げての大事業、よろしく願います。

できた衣食住の全般にわたる手づくりの生活道具、これが民具と呼ばれるものです。

こうした先人の文化遺産である民具が、時代の波に押し流されて、ここ数年のうちに亡びてしまうおそれがあります。

そこで、私達は先人の心をも大切にし、お互いの精神文化と、ふるさとの意識を高め、貴重な民具を後の世までものこしておこうというのが、この運動のねらいです。

▼実施主体
大豊町、大豊町教育委員
会

▼実施団体
区長協議会、連合青年
団、連合婦人会、老人ク
ラブ連合会、町内各農協、消
防団、小、中学校、高等家
族会

▼ 収集期間及び収集月間
◎ 収集月間九月一日～同
三十日
◎ 収集期間九月一日～来
年三月末

政学校、文化推進協議会、その他全町民

▼収集方法

区長さんに荷札を渡してありますので、提供下さる方の、民具に住所氏名をつけて、区長さんの指示に従って出して下さいます。町民相互により、人づくりの運動の一環でもありますので、それぞれ奉仕活動でお願いすることになっております。(トラバツク所有者による運搬等)

▼民具の種類

◎無形ではなく、持ち運

板材を多く生産したこと、大阪に材を運ぶのも土佐が一番早かったことなどを知ることが出来た。また、茶がまも土佐に多いようです。それだけに先人達は、「タフ」などの着物を着て粗食にあまじ、農作業をしながら「こびき」などをして山に生きてきました。先人の生活を知るためには、漫然と集めるのではなく、一万点以上集めることが必要です。

◎衣Ⅱタフ、大豊で作っ

の他食生活に関係のある今
つかつていない古いものも
ある。

◎住「古い生活道具、オ
ガ、鋸、叉物、鋏、牛鋏、
馬鋏、鎌、牛馬の鞍、その
他暮らしを立てるために使
った古い道具類。

▼民具は多くあるほど価値
観が変えてきます。

例えば、同じ物が何千何
百と集められますと、それ
らを作った人々の心にあふ
れることが出来、それによ
って生活を見直すきっかけを

とを愛する精神が生まれてきます。四国では一万点以上集めている民俗資料館はまだありません。ただ香川県に海で生活した人達の民具を一万点以上集めたところが一ヶ所あるだけです。

民具は機械生産のように全く同じものはありません。だから民具はいくらあってもありませんということはないのです。

ら何をするかが重要である。それで何のために婦人会活動をするのだという目的を把握して、自信と信念を持って努力をしてほしい。そうして行き詰った時には同じ目的を持つ者として話し合いの場を持ちお互いに助け合いながら頑張らましよう」と優しく励ましで下さいました。それ以来、婦人会活動が続けてくるうちに多くの問題にぶつかり、とかくく自言喪失して

いもの、天井裏、納屋の隅、エンの下部にも置いてあると思います「こんなものを出してはずかしい」と思わずに出してほしい。

◎山仕事の道具「オガ」や「のこぎり」がたぐささんあるということは、大豊が

昔の重い布とん、蚊帳、ウ
ンサイ織りのかるさん符等
々。

◎食||モツソー、竹細
工、その他の弁当類、き
ち、ひきうす、斗うす（も
みすり機）とおみ、まんご
く、茶がま、じざい鉤、そ

した。昭和二十八年公立に移管、爾来二十有余年校長として、深い隣人愛と奉仕の精神、地の塩となる婦人の養成につとめ多大の成果を収めた。現在五百六十名の

冥福を祈ろう。前文略。
吉川先生、先生に私が親しくご指導いただいたのはたった一度でした。けれども私は先生を生涯の恩師として心から尊敬させて

先生のお言葉が支えて下さいました。

国づくりは先づ婦人教育からと、あの痛ましい敗戦直後に逸早く貴重な私財を投じてこれに取り組まれた長崎は先生のご遺志は、見

県知事から表彰

大田口“にこにこ”子供会

大豊町内には、子ども会の組織が十九団体あり、それぞれ活躍している。これらのうち、東部子ども会に次いで『大田口にここに子ども会』が、五月七日県庁正庁ホールで知事表彰された。

これは毎年、青少年健全育成の一つとして、子ども会の育成と、その発展をうながすために実施しているもので、こし表彰されたのは県下で十団体。

(二)……にこにこ顔で話し合おう。

(コ)……ところと体をきたえよう。

(ニ)……にっこり笑って教えあおう。

(コ)……子ども会の輪を広げよう。

(力)……かちまけよりも励ましあおう。

(イ)……いつもみんなで助けあおう。

これが大田口子ども会の約そくことであり、四十八年以來、ラジオ体操、キャンプ大会、オバケ大会(キモだめし)、クリスマスパーティ、映画会、交通安全、サイクリング(早期浦)など幅広い活動を展開している。この子ども会を育ててきた竹内良二君は次のように話している。

親の自主性により、今年度から育成会が再出発することになった。子ども会、指導者、育成会の三つのつながりを大切にして、地域住民と共に公民館を中心に話し合いの場を持ち、子供と一緒に取り組んでゆきたい。

個人的な考えかも知れないが、子をもつ親は自分の

姿を理解し、親としての指導の方法を見出すことができるのではないだろうか。このような我が子の理解の過程を通じて、子どもが健全育成のために、他の保護者と手を取りあってほしいと思っているし、町内での子ども会を、もう一度みんなんで考えてみようではないですか、このように話していた。

写真説明(上) 写真はあ
りし日の吉川先生(左) 遺
影の前に花をささげる高等
家政学校の生徒さんたち

は婦人教育に対するご自分のお考えと、その重要性を説かれ婦人会活動についてでも色々ご指導下さいました。

なかでも、何の学識も経験もなくこのような重責を背負って、どうしたらよいのだろうか、一体自分らに何が出来るだろうかという不安に対して先生は、『このように道義の退廃した社会

中心に直接にこの指導を受けた感化された多くの人々は、各地でリーダーとして、それぞれの立場で活発な活動をくり広げており、本町婦人の資質向上のため先生の果たされたこの功績は大きく又先生の播かれた種は堅実に花を開き実を結んでいます。……私達は常に先生のこの遺志を尊重し教養を高め、先生には到底及ば

偉大なる先驅者

吉川先生の追悼式

前大豊町立高等家政学校組織する鳩の果会並びに町長故吉川喜美先生の追悼式が、七月二日当校卒業生で主催で厳粛に行われた。

吉川先生は昭和二年、夫君遊亀氏と共にシンガポール赴任以来十四年海外生



りし日の吉川先生を偲び御
写真説明（上）写真はあ
りし日の吉川先生（左）遺
影の前に花をささげる高等
家政学校の生徒さんたち

一時間四十分、その間先生は婦人教育に対するご自分のお考えと、その重要性を説かれ婦人会活動について色々ご指導下さいました。

ました卒業生五百六十名を中心にして、直接にご指導を受けた感化された多くの人々は、各地でリーダーとしてそれぞれの立場で活発な活動をくり広げており、本町

なかでも、何の学識も経験もなくこのような重責を背負つて、どうしたらよいのだらうか、一体自分に何が出来たるだらうかという不安に對して先生は、『このように道義の退廃した社会を立てなおすためには、そのすべてをただ政治にだけ頼り他人まかせにしていては何も出来ないのではないが、まづ、危機を感じた人がこれを改善するために自分をはなをすべきか、又、なにか出来るかを考えそれを実行しなくてはならぬ。過去に何をしていたかが問題ではなく、これから

婦人の資質向上のため先生が果されたご功績は大きく又先生の播かれた種は堅実に花を開き実を結んでいます。：略。私達は常に先生のご遺志を尊重し教養を高め、先生には到底及ばなくても、そのご高德に一步でも近づくことが出来るよう努力を続け、明るい町づくりしに寄与することをお誓ひ申し上げ、我がふるさとに婦人教育の偉大な先驅者吉川先生のご冥福を心から祈り致します。いつまでも心に生きる思い出の一端を申し上げ追悼の言葉と致します。

